

## 「広島商工会議所環境行動計画」

### 趣旨

地球温暖化は最も重要な環境問題の一つであり、わが国においても、長期的、継続的な温室効果ガスの排出削減へ向けて、企業を含め幅広い取り組みが行われている。

こうした中、本所では、会員中小企業の地球温暖化対策への取り組みを、企業の「低炭素経営<sup>(注1)</sup>」をめざす絶好の機会としてとらえ、強力に支援すべく、「広島商工会議所環境行動計画」を策定し、本所会員企業が地球温暖化対策に自主的・継続的に取り組むことを支援して行くこととする。

### 計画の概要

#### 1. 基本方針

##### (1) 目的

広島商工会議所として環境問題に率先して取り組むことはもとより、会員企業が、二酸化炭素の排出削減・吸収を中心とする地球温暖化対策に、自主的・継続的に取り組むことができるよう積極的な支援を行う。

##### (2) 取り組みの方向性

講演会・セミナーの開催や所報・ホームページ等、あらゆる機会を通じ、低炭素経営に取り組む意義や、取り組みがCSR(企業の社会的責任)はもとより、経営の効率化・経費削減に繋がることを理解していただけるよう啓発に努める。

取り組み内容や支援メニューを具体的に解りやすく提示し、各社で実施可能なものから順次取り組みを進めることができるよう工夫する。

事業実施にあたっては、会員企業を対象に行ったアンケート結果に十分配慮する。

主管する環境委員会において、毎年、前年の取り組み内容や達成状況を取りまとめ、必要に応じて内容の見直しを行う。

とりまとめた内容は、所報・ホームページ等を通じて会員企業へフィードバックするとともに、日本商工会議所へ報告する。

#### 2. 実施期間

地球温暖化対策は長期的かつ継続的に実施していくことが求められる。

当面は京都議定書<sup>(注2)</sup>第一約束期間内の平成21(2009)年度～平成24(2012)年度の4カ年度を実施期間とし、毎年、前年度の取り組み結果や達成状況を取りまとめ、必要に応じて内容の見直しを行う。

### 3. 実施体制

環境委員会が主管し、計画を推進する。  
 (担当：商工部産業振興チーム)

### 4. 実施事業

- (1) 広島商工会議所としての取り組みの推進
  - 「エコアクション 21<sup>(注3)</sup>」認証の取得
  - 「環境社会検定試験 (eco 検定)<sup>(注4)</sup>」の全職員合格を目指す
- (2) 会員中小企業等による実態把握への支援
  - 二酸化炭素排出量簡易チェックシート<sup>(注5)</sup>の普及
- (3) 会員中小企業等による取り組みへの支援
  - 環境問題・省エネルギー対応のための説明会・セミナー・視察会等の開催
  - 所報やホームページによる支援メニュー・新制度等の広報
  - 補助金・助成金・融資制度に関する情報収集及び提供
  - 環境対応のための取り組みを網羅したパンフレットの作成及び提供
- (4) 行政との連携
  - 「広島発・ストップ地球温暖化 県民運動<sup>(注6)</sup>」への参画
  - 「広島市地球温暖化対策地域協議会<sup>(注7)</sup>」への参画
  - 支援策に関する行政への要望

### 5. 当面のスケジュール

時期 取り組み	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
各種補助金の情報	● 情報収集・整理・提供	● 情報の更新	
取り組みを網羅したパンフレットの作成・提供	● 情報収集・整理・作成	● 会員企業への提供	
「エコアクション 21」認証取得	● キックオフ	● 認証取得に向けた取り組み	● 認証取得 ● システムの運用
チェックシートの作成・提供	● 作成	● 会員企業への提供	
取り組みの検証・見直し		● 検証・見直し (環境委員会)	● 検証・見直し (環境委員会)

## 広島商工会議所環境行動計画の推進に向けて

### 3つの宣言

#### 広島商工会議所としての取り組み

##### 環境マネジメントシステム「エコアクション 21」認証の取得

平成 21 年度中に、広島商工会議所として、安価で実効性の高い環境マネジメントシステム「エコアクション 21」認証を取得し、環境対応を図るための取り組みが組織運営（経営）の効率化に繋がることを実証（体感）する。

##### 「環境社会検定試験（eco 検定）」の全職員合格を目指す

環境社会検定試験（eco 検定）の受験を広島商工会議所職員の環境教育の一環として位置づけ、全職員が合格できるよう取り組む。

【現時点での合格者数：職員 66 人中 9 人】

##### 行政機関等と連携して取り組む

取り組みを効率的かつ効果的に進めていくため、国・県・市などと連携するとともに、必要に応じて支援策の要望を行う。

### 3つの目標

#### 数値目標

##### 7項目以上の環境行動を実践する企業数 会員の 50%以上（5,000 社）

会員企業の 50%以上が環境行動を実践するよう、積極的な支援・啓発に努め、取引先や従業員の家族などにまで取り組みの輪を拡げる。

5,000 会員（10,000 × 0.5）× 従業員 15 人 × 家族 3 人 = 22.5 万人（広島市の人口の 20%）

【アンケート結果（注 8）：環境対応への取り組み全 19 項目中、平均 6.1 項目を実施済（7 項目以上 39.3%）】

##### 「チェックシート」利用企業数 会員の 30%以上（3,000 社）

会員企業の 30%以上が、「二酸化炭素排出量チェックシート（環境家計簿）」を活用するよう、使いやすいチェックシートを作成する。

【アンケート結果：排出量算出 実施済 8.5% 今後実施 19.8% 予定なし 71.7%】

##### 「環境社会検定試験（eco 検定）」合格者在籍企業数 会員の 30%以上（3,000 社）

環境社会検定試験（eco 検定）の受験を環境教育の一環として位置づけ、会員企業の 30%以上に合格者が在籍するよう啓発に努める。

【アンケート結果：従業員の環境知識の向上 実施済 38.4% 今後実施 49.0% 予定なし 12.7%】

### 3つの行動

#### 会員企業への支援策

##### 二酸化炭素排出量を容易に把握することができる「チェックシート」の提供

取り組みの実効性を高めるためには、まずは自社の二酸化炭素の排出状況を把握することが必要となる。排出量を簡単に算出・分析することのできる「チェックシート」を、会員企業の皆様にご提供する。

##### 環境対応を図るための取り組みを網羅した「パンフレット」の提供

業種や職場環境の違いにより、すぐ実施できる取り組み、実施しにくい取り組みが出てくる。実情に合った取り組みを進めていただくため、環境対応を図るための取り組みを網羅した「パンフレット」を作成し、会員企業に提供する。

##### 環境マネジメントシステム「エコアクション 21」認証取得の支援

システムの構築・維持に係る費用が安価で、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステム「エコアクション 21」認証を会員企業が取得できるよう、説明会の開催などに取り組む。

(注1) 低炭素経営  
 経済成長と環境保全の両立を原則として、二酸化炭素の排出量を大幅に抑制した経営。

(注2) 京都議定書  
 平成9年12月11日に京都で開かれた[第3回気候変動枠組条約締約国会議(地球温暖化防止京都会議、COP3)]で議決した議定書。  
 地球温暖化の原因となる、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスについて、先進国の削減率を平成2年を基準として各国別に定め、約束期間(平成20~24年)内に目標値を達成することが定められた。日本の削減目標はマイナス6%。

(注3) エコアクション21  
 環境省がISO14001規格をベースに策定した『エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン』に基づく、システムの構築・維持に係る費用が安価で、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステム。経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底等の効果が期待できる。

(注4) 環境社会検定試験(eco検定)  
 環境に対する幅広い知識をもち、社会の中で率先して環境問題に取り組む「人づくり」と、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」を目指すことを目的に実施している商工会議所の検定試験。  
 [毎年2回(7月・12月)実施、受験料5,250円、マークシート方式、100点中70点以上で合格]

(注5) 二酸化炭素排出量簡易チェックシート  
 月々の電気・ガス・水道などの使用量に排出係数を乗じることで、事業活動における二酸化炭素排出量(kg)を簡単に把握することができるシート。

	使用量(A)	係数(B)	CO2 排出量【A × B】
電 気	(kWh)	×0.68	(kg)
都市ガス	(m <sup>3</sup> )	×2.08	(kg)
L P ガス	(m <sup>3</sup> )	×6.45	(kg)
水 道	(m <sup>3</sup> )	×0.36	(kg)
灯 油	(L)	×2.49	(kg)
今月分の使用量のデータ入力	(L)	×2.32	(kg)
	(L)	×2.62	(kg)
計			(kg)

(注6) 「広島発・ストップ地球温暖化 県民運動」  
 「今すぐecoじゃけん広島～熱い気持ちで、地球をクールダウン～」をキャッチフレーズに、地球温暖化防止に向けて、県民一人ひとりにライフスタイルの見直しや、エコライフの実践を呼びかけ、二酸化炭素排出削減を目指す県民運動。(平成20年7月7日～平成22年度、事務局：広島県環境県民局)

(注7) 「広島市地球温暖化対策地域協議会」  
 平成15年10月、地球温暖化防止に関する活動を行う市民、事業者、環境NPO、市が連携して、温室効果ガス排出量の削減に向けて必要な事項を協議し、地球温暖化防止の取組を推進することを目的に設立された。(事務局：広島市環境局)

(注8) 地球温暖化対策及び省エネルギー対策に関するアンケート  
 本所環境行動計画を策定するにあたり、本所会員の取り組み状況を把握するため、平成20年11月に1,931会員を対象に実施し、541会員より回答を得た。  
 【設問：クールビズ、ウォームビズ、節電の励行、マイカーから公共交通機関への切り替え、アイドリングストップ、燃費の良い車への転換、モーダルシフト、省エネ機器への買い替え、新エネルギーの導入、排出量の算出、環境経営認証の取得、環境担当セクションの設置、環境知識の向上、環境活動への参加、グリーン購入の実践、リデュース、リユース、リサイクル、簡易包装】

# **「広島商工会議所環境行動計画」推進プログラム**

## **（平成21～24年度）**

**平成21年2月25日**

**広島商工会議所**



## 広島商工会議所環境行動計画

地球温暖化は最も重要な環境問題の一つであり、わが国においても、長期的、継続的な温室効果ガスの排出削減へ向けて、企業を含め幅広い取り組みが行われています。

中小企業にとっても、省エネルギー化や「低炭素経営」への移行による環境への配慮は、社会貢献や経営効率化の観点からも、避けて通れない経営課題となっています。

こうした中、平成20年9月、日本商工会議所会員総会において「商工会議所環境行動計画」が採択されました。

この計画は、会員中小企業の地球温暖化対策への取り組みを、イノベーションの絶好の機会としてとらえて強力に支援し、わが国の環境と経済との両立、持続的な経済発展と環境立国の実現に貢献することを目的に、会員事業所、さらにはその従業員・家族が取り組みやすく継続しやすいメニューを提示し、全国的な取り組みを展開するものです。

広島商工会議所では、この計画の趣旨を基本としながら、当地域の実情にあったメニューを取り入れて、低炭素社会の実現に資するための行動指針「広島商工会議所環境行動計画(平成21～24年度)」を策定し、本所会員企業の地球温暖化対策への自主的な取り組み、経営の効率化への支援を中心に、積極的に事業を展開いたします。



## I. 基本方針

### 1. 目的

広島商工会議所として環境問題に率先して取り組むことはもとより、会員企業が、二酸化炭素の排出削減・吸収を中心とする地球温暖化対策に、自主的・継続的に取り組むことができるよう積極的な支援を行います。

### 2. 取り組みの方向性

- (1) 講演会・セミナーの開催や所報・ホームページ等、あらゆる機会を通じ、低炭素経営に取り組む意義や、取り組みがCSR（企業の社会的責任）はもとより、経営の効率化・経費削減に繋がることを理解していただくよう啓発に努めます。
- (2) 取り組み内容や支援メニューを具体的に解りやすく提示し、各社で実施可能なものから順次取り組みを進めることができるよう工夫します。
- (3) 事業実施にあたっては、会員企業を対象に行ったアンケート結果に十分配慮します。
- (4) 主管する環境委員会において、毎年、前年の取り組み内容や達成状況をとりまとめ、必要に応じて内容の見直しを行います。  
とりまとめた内容は、所報・ホームページ等を通じて会員企業へフィードバックするとともに、日本商工会議所へ報告します。

## II. 実施期間

地球温暖化対策は長期的かつ継続的に実施していくことが求められます。

当面は京都議定書第一約束期間内の平成21(2009)年度～平成24(2012)年度の4ヵ年度を実施期間とし、毎年、前年度の取り組み結果や達成状況をとりまとめ、必要に応じて内容の見直しを行います。



### III. 実施体制

環境委員会が主管し、計画を推進します。  
(担当：商工部産業振興チーム)

### IV. 実施事業

#### 1. 広島商工会議所としての取り組みの推進

- (1) 「エコアクション21」認証の取得
- (2) 「環境社会検定試験(eco検定)」の全職員合格を目指す

#### 2. 会員中小企業等による実態把握への支援

- (1) 二酸化炭素排出量簡易チェックシートの普及

#### 3. 会員中小企業等による取り組みへの支援

- (1) 環境問題・省エネルギー対応のための説明会・セミナー・視察会等の開催
- (2) 所報やホームページによる支援メニュー・新制度等の広報
- (3) 補助金・助成金・融資制度に関する情報収集及び提供
- (4) 環境対応のための取り組みを網羅したパンフレットの作成及び提供

#### 4. 行政との連携

- (1) 「広島発・ストップ地球温暖化 県民運動」への参画
- (2) 「広島市地球温暖化対策地域協議会」への参画
- (3) 支援策に関する行政への要望



広島商工会議所として環境問題に率先して取り組む姿勢を明確にするため、下記の3点を宣言します。

### 「エコアクション21」認証を取得します。

平成21年度中に、広島商工会議所として、安価で実効性の高い環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証を取得し、環境対応を図るための取り組みが組織運営（経営）の効率化に繋がることを実証（体感）します。

### eco検定の全職員合格を目指します。

環境社会検定試験（eco検定）の受験を広島商工会議所職員の環境教育の一環として位置づけ、全職員が合格ができるよう取り組みます。

### 行政機関等と連携して取り組みます。

取り組みを効率的かつ効果的に進めていくため、国・県・市などと連携するとともに、必要に応じて支援策の要望を行います。



広島商工会議所として会員企業への支援策を実施していくことで見えてくる平成24年度末時点での姿として、下記の3点を数値目標として設定します。

### 全会員の50%以上を環境行動実践企業に。

会員企業の50%以上が環境行動を実践するよう、積極的な支援・啓発に努め、取引先や従業員の家族などにまで取り組みの輪を広げます。

$$5,000 \text{ 会員} (10,000 \times 0.5) \times \text{従業員} 15 \text{ 人} \times \text{家族} 3 \text{ 人} \\ = 22.5 \text{ 万人 (広島市の人口の20\%)}$$

【会員アンケート結果：環境対応への取り組み全19項目（クールビズ、ウォームビズ、節電の励行、省エネ機器への買い替え、環境対応セクションの設置、簡易包装等）中、平均6.1項目を実施済（7項目以上 39.3%）】

### 全会員の30%以上をチェックシート利用企業に。

会員企業の30%以上が、「二酸化炭素排出量チェックシート（環境家計簿）」を活用するよう、使いやすいチェックシートを作成します。

【会員アンケート結果：二酸化炭素排出量算出・・・実施済8.5% 今後実施19.8% 予定なし71.7%】

### 全会員の30%以上をeco検定合格者在籍企業に。

環境社会検定試験（eco検定）の受験を環境教育の一環として位置づけ、会員企業の30%以上に合格者が在籍するよう啓発に努めます。

【会員アンケート結果：従業員の環境知識の向上・・・実施済38.4% 今後実施49.0% 予定なし12.7%】



### 二酸化炭素排出量「チェックシート」を提供します。

取り組みの実効性を高めるためには、まずは自社の二酸化炭素の排出状況を把握することが必要です。排出量を簡単に算出・分析することのできる「チェックシート」を、会員企業の皆様にご提供します。

### 取り組みを網羅した「パンフレット」を提供します。

業種や職場環境の違いにより、すぐ実施できる取り組み、実施しにくい取り組みが出てきます。実情に合った取り組みを進めていただくため、環境対応を図るための取り組みを網羅した「パンフレット」を作成し、会員企業の皆様にご提供します。

### 「エコアクション21」認証取得を支援します。

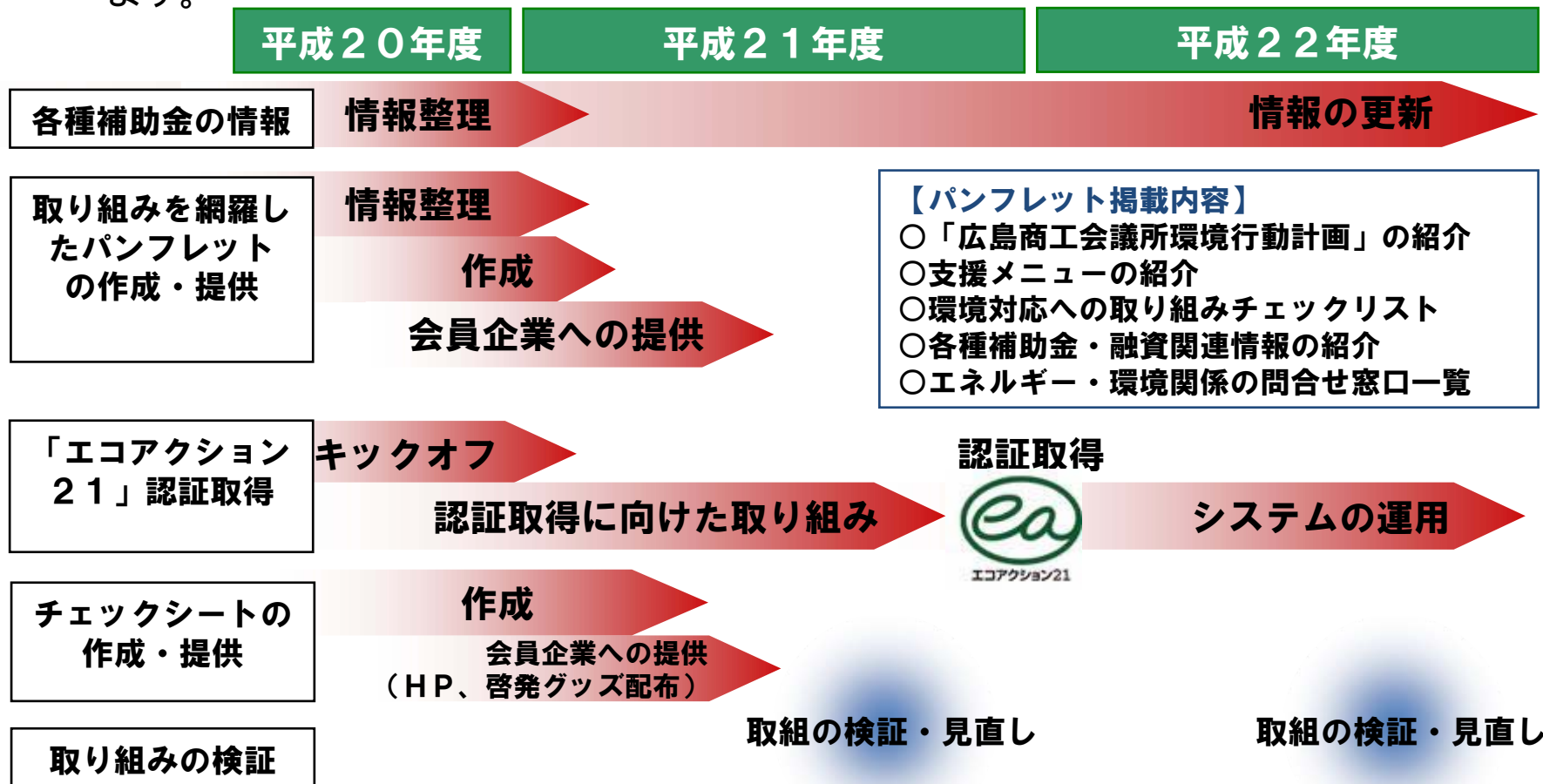
システムの構築・維持に係る費用が安価で、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証を会員企業が取得できるよう、説明会の開催などに取り組みます。



# 推進プログラム 短期スケジュール(～平成22年度)

平成21年度から24年度の4カ年度を実施期間としていますが、短期的な取り組みとして、平成21年前期に「パンフレット」の作成・提供、平成21年度中に「エコアクション21」認証を取得します。

また、毎年、前年の取組内容や達成状況をとりとまとめ、必要に応じて見直しを行います。





温暖化等地球規模の環境問題への対応は、社会からの一時的な要請ではなく、今後も継続的に世界的な取り組みが求められるものであって、個人や地域の事業体においても一層の努力が必要とされる時期にまで至っています。

このような（地球規模的な）要請に対して、各事業体はそれを「マイナス要因」として捉えるのではなく、「環境対応・環境管理」という企業戦略の一環として位置付け、めまぐるしく変化する経営環境にも対応できる企業としての体力・体質の改善・向上のためには、避けては通れない道であることを認識する必要があると言えます。

「温暖化物質である二酸化炭素排出量の削減が必要。」という要請には、「多額の設備投資や人員の投入が必要になるのではないか？」、「人材の少ない中小企業には取り組みにくい。」といったイメージが強く、その実行の困難さを指摘する意見が多く出されます。

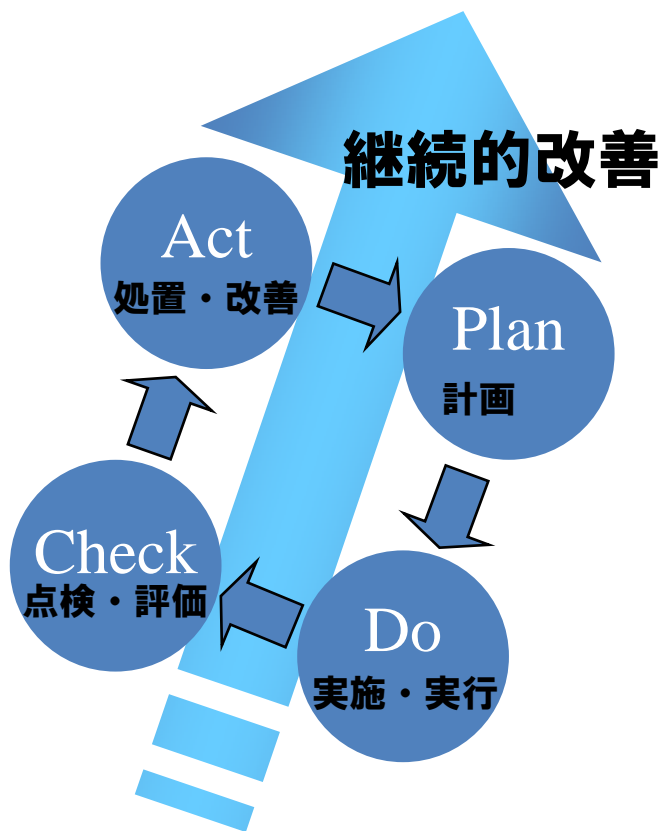
しかし、「二酸化炭素排出量の削減に取り組む、リサイクルを推進する」ということは、「電気」・「ガス」・「水道」などの「一次エネルギー」の利用や「廃棄物」の排出を効率良くコントロールすることを意味し、結果として事業経費の削減に繋がる作業です。

このような視点から事業内容を見直し、「環境対応・環境管理」に関わる継続的な取り組みを進めることで、企業の社会的責任を果たすだけでなく、経営の効率化によって企業価値を高め、ひいては企業イメージや従業員のモチベーションの向上などの効果も大いに期待できるものと「広島商工会議所」は考えます。



環境問題は長期的かつ継続的に実施していくことが求められるため、「計画（Plan）」「実施・実行（Do）」「点検・評価（Check）」「処置・改善（Act）」のPDCAサイクルを回していくことが重要です。

「ISO14001」や「エコアクション21」などの環境マネジメントシステムは、このPDCAサイクルが基本になっています。



Plan（計画）	過去の実績や将来予測をベースに計画(数値目標)を策定。
Do（実施・実行）	計画に沿って実行。
Check（点検・評価）	実施内容が計画に沿っているか、成果が出ているか確認。
Act（処置・改善）	内容の見直し。

### 広島商工会議所の支援メニュー

- 広島商工会議所オリジナルチェックシート作成・提供
- 「エコアクション21」説明会等の開催



# まずは現状を把握しましょう (1) 二酸化炭素排出量

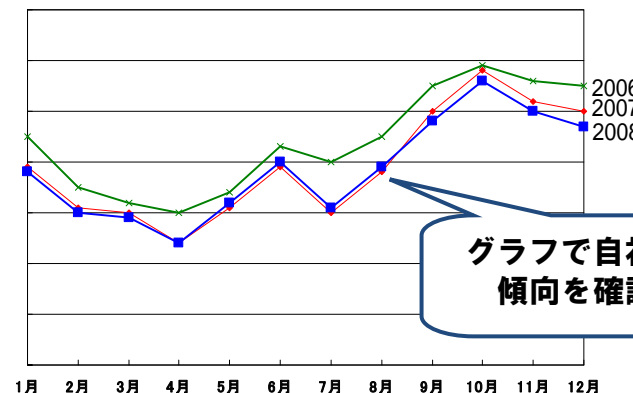
取り組みを進める前に、まずは「二酸化炭素排出量・一次エネルギー使用量チェックシート（環境家計簿）」を活用し、事業活動の中でどれだけのエネルギーを使用しているのか、現状を定量的に把握してみましょう。

事前に排出量を目に見える数値で把握しておくことで、実効性のある取り組みを進めることができます。

	使用量 (A)	係数 (B)	CO2排出量 [A×B]
電 気	(kWh)	× 0.68	(kg)
都市ガス	(m <sup>3</sup> )	× 2.08	(kg)
L P ガス	(m <sup>3</sup> )	× 6.45	(kg)
水 道	(m <sup>3</sup> )	× 0.36	(kg)
灯 油	(L)	× 2.49	(kg)
ガソリン	(L)	× 2.32	(kg)
合 計			(kg)

今月分の使用量のデータ入力

自動計算



グラフで自社の傾向を確認



(ご参考) 商工会議所環境行動計画支援サイト

<http://www.co2web.jp/>

## 広島商工会議所の支援メニュー

- 「商工会議所環境行動計画支援サイト (CO2 WEB)」の紹介
- 広島商工会議所オリジナルチェックシートの作成・提供
- 「エコアクション21説明会」等の開催



事業内容によって、すぐにでも取り組める項目や、取り組みにくい項目があります。チェックリストで取り組める項目かそうでない項目かをチェックしていき、自社の事業内容にマッチした改善項目を一覧表として整理しましょう。

実施済の内容

<input checked="" type="checkbox"/>	人がいない時は、こまめに照明を消すようルール化されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	冷暖房機器は、必要な時だけ使用するようルール化されている。
<input type="checkbox"/>	空調機のフィルターを定期的に清掃している。
<input type="checkbox"/>	空調機を使用しない季節はコンセントからプラグを抜いている。
<input type="checkbox"/>	照明は、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光ランプを使用している。

まだ取り組んでいない内容

### 広島商工会議所の支援メニュー

- 環境対応を図るための取り組みを網羅したパンフレットの作成・提供
- 「エコアクション21説明会」等の開催
- 所報「hiroshima」への先進企業事例の掲載



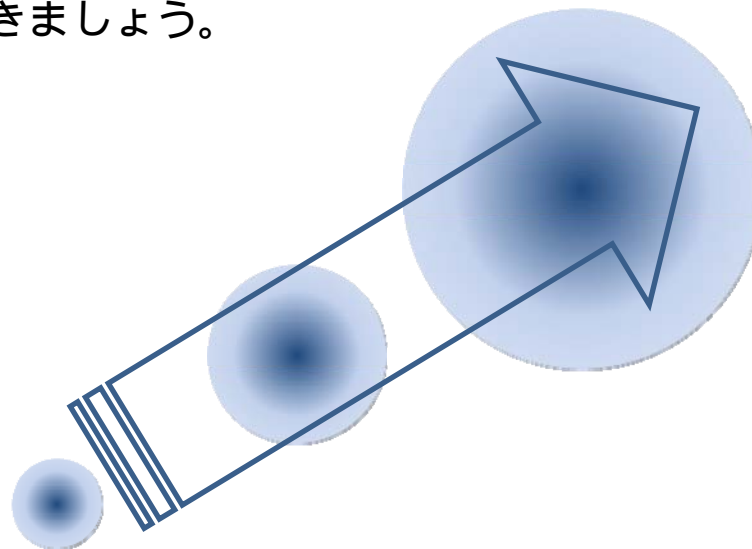
社内報・折り込みチラシ・ホームページなどへ記載することにより、自社で取り組んでいる内容を内外にしっかりPRするとともに、社内だけでなく、取引先や従業員の家族など、取り組みの輪を広げていきましょう。



(ご参考) チームマイナス6%  
<http://www.team-6.jp/>



(ご参考) 今すぐecoじゃけん広島  
～広島発・ストップ地球温暖化 県民運動～  
～<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/eco/f/f1/warming/ecojaken.html>～



## 広島商工会議所の支援メニュー

- 環境対応を図るための取り組みを網羅したパンフレットの作成・提供
- 所報「hiroshima」への先進企業事例の掲載



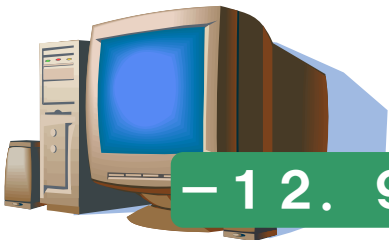
こまめな節電の取り組みを全従業員に周知徹底して習慣化する他、電球などを買  
替える時に省エネタイプを選択することで、大きな削減効果が期待できます。

## 習慣化

## 買い替え

**■パソコン**

外出時など、オフィスのパソコンを使用しない時には電源を切る。



**- 12.9 kg**

(デスクトップ、1日1時間短縮)

- ・年間 **12.9 kg** のCO2削減
- ・電気 **31.57 kWh** の省エネ (約 **690円** の節約)

Windowsの場合、コントロールパネルの「電源オプション」の設定を変えるだけでも効果があります。

**■電気ポット**

長時間使用しない時にはプラグを抜く。




**- 44.1 kg**

- ・年間 **44.1 kg** のCO2削減
- ・電気 **107.45 kWh** の省エネ (約 **2,360円** の節約)

**■照明器具**

白熱電球から電球型蛍光灯に切り替える。



**- 34.4 kg**

- ・年間 **34.4 kg** のCO2削減
- ・電気 **8.4 kWh** の省エネ (約 **1,850円** の節約)

寿命6倍、消費電力4分の1。

出典：省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典2008」



### ○低炭素経営

経済成長と環境保全の両立を原則として、二酸化炭素の排出量を大幅に抑制した経営のことです。

### ○イノベーション

技術革新のみに限らず、過去とは断絶した新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす能力のことです。

### ○京都議定書

平成9年12月11日に京都で開かれた〔第3回気候変動枠組条約締約国会議（地球温暖化防止京都会議、COP3）〕で議決した議定書です。

地球温暖化の原因となる、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスについて、先進国の削減率を平成2年を基準として各国別に定め、約束期間（平成20～24年）内に目標値を達成することが定められました。日本の削減目標は-6%です。

### ○エコアクション21

環境省がISO14001規格をベースに策定した『エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン』に基づく、システムの構築・維持に係る費用が安価で、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステムです。

経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底等の効果が期待できます。

### ○環境社会検定試験（eco検定）

環境に対する幅広い知識をもち、社会の中で率先して環境問題に取り組む「人づくり」と、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」を目指すことを目的に実施している商工会議所の検定試験です。

〔毎年2回（7月・12月）実施、受験料5,250円、マークシート方式、100点中70点以上で合格〕

### ○国内クレジット制度

中小企業等が大企業から資金や技術の提供を受け、二酸化炭素など温室効果ガスの排出量を削減した場合、第三者認証期間により認証された削減量を大企業自らが削減したとみなすことができる制度です。

資金や人材、情報などが限られる中小企業等にとって省エネ設備の導入などを行う機会の一つになります。

**広島商工会議所 環境担当**

**商工部 産業振興チーム**

**TEL (082) 222-6651**

**FAX (082) 222-6411**